

シリーズ

協働のまちづくり

ぬくもりのある地域づくりに努めよう
「出会い・ふれあい・助け合い・学びあい」
四つのあい

第九章

北地区 まちづくり協議会



会長 西井 直夫 さん

北地区は、およそ4千6百世帯を擁する地域です。核となる北小学校も当然市内最大のマンモス校です。

広範な地域ですから、意見の

多様性も半端ではありません。北地区、灘地区と言いつつ、いかにもいれませんが、ここは伝統的に横のつながりの確立されている地区です。

もともと「灘たんぼ」という言葉があったように、農業地域であったことから、共同体意識が醸成されていたのかもしれない。いろいろな行事があれば、身構えず気楽に参加していただけるような雰囲気は自慢しているほどと確信しています。

誰もが、自分にできることで参加してください。

農地の宅地化は急ピッチで進んでいます。これまでの農業共同体意識でのつながりから、もともと違つたつながりのあり方を模索しなければなりません。

今年度は、諸先輩方から受け継いできた、地区社教、地区町連の在り方を踏襲してきました。半



北地区
人口 11,368人
世帯数 4,593
町内会数 12
(平成27年4月1日現在)

期を終えて、地域の様々な組織が一体となれるかたちの模索も進めてまいりました。次年度に向けての課題もいくつか見えてきました。

災害時の対応についても、災害時要支援者の避難について、自宅から避難場所までの避難路が確保できるのだろうか、実際のようなど、あらかじめ予測、把握しておかなければならない事項があることが見えてきました。

地域自治部会では、地域としてのハザードマップ作成、隣接町内相互の協力体制などを検討する準備に入っています。

社会教育部会では、各委員の負担について、従前の体制の見直しが始まっています。

地域福祉部会は民生児童委員と見守り推進員で立ち上がりましたが、大きな見直しを迫られています。

各部会ごとに、来年度に向け課題を抱えています。これからが北地区のまちづくりの始まりです。

北地区まちづくり協議会

住所/桐生町2-121

(北小学校体育館内)

☎ FAX 34-1-9009

Mail: kitamachi@hidatakayama.ne.jp

広報

市長だより

49

「感動をくれた小学生」
市に寄せられた一通のメールより
高山市長 國島芳明

「感動をくれた小学生」と題するメールを頂戴しました。内容は、米国在住の女性が昨夏、夫の実家である高山で10日ほど滞在された際の出来事です。この方が母の車に乗り交差点を左折した時、新宮小学校の児童3人が横断歩道を渡ろうとしていました。横断歩道を渡る児童の姿をのぼのとした気持ちで眺めていると、渡り切った3人がクルッと振り返り、そろって深々と頭を下げました。

女性はこの事実衝撃し感動で震えたそうです。15年以上上米国にお住いのこの方にとって、日本の子どもの礼儀正しさと、高山の自然に囲まれた素晴らしい環境でのびのびと育つと礼儀正しくなるのではないかと考えられました。女性のメールは最後にこう閉じられていました。「高山は世界中から観光客が集まる国際的な場所です。きっと他にもこうした感動を憶えて帰国する外国人も多いのではないのでしょうか。どうかこれからも高山が礼儀正しく、心の大きな国際人を輩出できるよう願ってやみません」と。みなさんはどう感じられたでしょうか。決して特別ではない挨拶やしぐさが、相手の気持ちをとても幸せにすることを。そしていつまでもこんな高山の子どもたちを育てていかなければならないことを。

市長室へようこそ

●市民と市長の面談日

2月17日(水)

午前9時～11時45分

※事前にご予約ください



また、始業前の時間も市役所の市長室を「市民と市長の対話の場」として開放しています。お気軽にお越しください。

●開放時間

午前7時～8時30分まで

※出張や特別な行事がある場合は除きます。
※市ホームページで市長の週間スケジュールを公開しています。

●市長室直通FAXもご利用ください

FAX●32-7000

問合せ先 秘書課 ☎35-3130

編集・発行/高山市企画管理部企画課
〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地
TEL/0577-32-3333(代)
FAX/0577-32-7000 (市長室直通)
FAX/0577-35-3174 (企画課直通)

HP/http://www.city.takayama.lg.jp/
E-mail/kouhou@city.takayama.lg.jp
防災情報などは携帯電話でもご覧いただけます
携帯用HP/http://mobile.city.takayama.lg.jp/